

枝川スタッフが選んだおすすめ本

枝川の本棚

★11月のピックアップ★

『森島章子は人を撮らない』

秋永真琴/著 東京創元社

ISBN: 978-4-488-029-46-3



札幌のアマチュア写真サークルに所属する大学生の章子はすばらしい感性を持っていたが、なぜか人物を撮ろうとしない。そこには過去につらい経験があったからだ。章子を取り巻くさまざまな人間の視点から彼女の人物像が描かれ、救われていく。

章子がファインダー越しにのぞいた風景の1つ1つに心が揺さぶられる。札幌の雪のように美しい著者の言葉に、心なごむ一冊です。

一般書

『ウー・ウェンの迷わない食べ方』

ウー・ウェン/著 大和書房

ISBN: 978-4-479-78642-9

料理家ウー・ウェンが提案するのは、「塩と油」そして「蒸す・焼く」だけで素材の旨味を最大限に引き出す、とてもシンプルな調理法です。

毎日のことだからがんばらないし無理をしない。そんな自分にやさしい食べ方をレシピとともに紹介しています。

旬の恩恵を味わう楽しさと、日々の料理の負担の軽さで、心も体も心地よく整えてくれるヒントが満載です。

『カラヴァッジョと惨劇のローマ』

中野京子/著 文藝春秋

ISBN: 978-4-16-392072-6

芸術家の人生に波乱万丈はつきもの。と感じる方は多いのではないのでしょうか？

カラヴァッジョも例外ではなく、むしろ自分から波乱の方へ向かっていく「荒くれ者」で、やらかしエピソードが満載なのも本書の魅力のひとつ…かも？

写実的でドラマチック。いい意味で人間臭い彼の絵の実力は、誰しもが認める程でした。絵に生かされた画家・カラヴァッジョの人生と美しい絵画を堪能できる一冊です。



『おちばでおえかき』
のぐち み つ き ふくいんかんしょてん
野口満一月/さく 福音館書店
ISBN: 978-4-8340-8872-4

秋の公園はきれいだな。なつめちゃんとおねえちゃんは、赤や黄色、茶色のはっぱを見つけてあそびます。

赤いはっぱをあつめてスカートをつくったり、はっぱの上をあるいてシャクシャクシャク…。

じめんにたくさんおちているはっぱを見わたすと、まるで木がおえかきしているみたい。

おさんばいったら、いろんな色やかたちのおちばを見つけてみよう！
3～5歳向け



『せかいをみてきたペンギンくん』
M. レイ/作 H. A. レイ/作 木坂 涼/訳 好学社
ISBN: 978-4-7690-2361-6

ラジオ局ではたらくペンギンくん。ラジオではなすおはなしがなくなり、新しいおはなしをさがす旅にでます。

ところが、ふねがこわれたり、さばくにとばされたりとたいへんなことがつぎつぎおこります。

それでもペンギンくんは、「これもおはなしになるね！」と、およろこび。どんなことがあってもたのしそうなペンギンくんと、せかいをまわる旅へしゅっぱつだ！

0～5歳向け



YA(ヤングアダルト)

『成長する有機体』
歌代 朔/作 あかね書房
ISBN: 978-4-251-07323-5



中学2年生の普花、周、良輝は図書館で職場体験をすることになりました。最初の仕事は、「鬼のパンツ」を踊ること！？最初のイメージとは違う仕事を通じて、3人はそれぞれ抱える悩みと向き合います。

図書館を、新しいものを積極的に取り入れて、常に成長する生き物に例えてつけられたタイトルです。図書館の仕事や働くことについて知りたい人を含め、ぜひ読んでほしい一冊です。

中学生向け



枝川図書サービスコーナー

江東区枝川 3-6-16(枝川区民館 1 階) 【TEL・FAX】 03-3647-6860
【開館時間】 9 時～17 時 【休館日】 月曜日・第 3 金曜日・祝日

2026 年 11 月発行